

教科別研修講座報告

平成 30 年 7 月 30 日（月）

C811 道徳教育研修講座（中学校）

「今、求められる道徳教育

～教科化にむけた道徳教育の充実を目指して～」

講師 文部科学省初等中等教育局教科調査官 澤田 浩一 氏

〈内容の詳細〉

1 今、求められる道徳教育の充実を目指して（講義）

- ・道徳教育の改訂の背景、道徳性の特質、道徳性の発達段階、道徳の内容項目、道徳教育について。
- ・自らの人生や社会における答えが定まっていない問いを受け止め、多様な他者と議論を重ねて探求し、「納得解」を得るための資質・能力が求められる中で、道徳教育は大きな役割を果たす必要があること。

2 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進上の課題（グループ協議）

- ・事前課題である「推進上の課題」についてのグループでの話し合い。道徳教育の全体計画の共有。

3 「道徳の時間」の充実を図るために（講義）

- ・授業改善のポイント、ローテーション型、TT 型道徳の紹介、何を「楽しい」と思うか、発達段階で異なること。

4 道徳教育アーカイブを視聴して（グループ協議・講評・質疑応答 等）

- ・アーカイブ視聴後「議論する道徳とは？」の協議。
- ・大きくりなまとまりで評価する意味、言語活動が得意でない生徒の評価について等。



〈受講者の声〉

・「考え、議論する道徳」と聞くと、身構えてしまいますが、「議論する」ということが「共に語り合う」ということ、また、友達の見解を聞いて、その見解を鏡にして自分の見解を見つめ直すことができるということが、「議論する道徳」なのだと感じました。これからは、自分の考えを深めていく道徳の授業をしたいです。

・中学生の脳の発達段階を踏まえた道徳の時間の持ち方や評価のあり方考えの広げ方、深め方など、とても分かりやすかったです。この教科化をきっかけに、生徒一人ひとりを全教員（より多くの教員）で見守ることにつながるという前向きな考え方を学校に帰って伝えたいと思います。

・調査官の知識が豊富で、情報を多面的に伝達して下さり、とても興味深かったです。道徳教育アーカイブを全教員で視聴して、授業づくりの参考にしたいと思いました。